

京都国立博物館

KYOTO NATIONAL MUSEUM

平成知新館展示案内

ご利用案内

◎閉館時間(入館は各閉館の30分前まで)

名品ギャラリー(平常展示) 庭園のみ閉館期間	9:30~17:00
特別展	そのつど定めます

◎休館日/月曜日

(月曜日が祝日・休日の場合は開館し、翌火曜日休館)、年末年始

◎観覧料

名品ギャラリー(平常展示)

一般 700円/大学生 350円

高校生以下及び満18歳未満、満70歳以上、キャンパスメンバーズ無料(要証明)

庭園のみ閉館期間

一般 300円/大学生 150円

高校生以下及び満18歳未満、満70歳以上、キャンパスメンバーズ無料(要証明)

※特別展については、そのつど定めます。

また、特別展期間中、名品ギャラリーのみの観覧は出来ません。

※障害者の方とその介護者1名は無料。障害者手帳等をご提示ください。

交通

◎JR

京都駅下車、市バスD1のりばから100号、
D2のりばから206・208号系統にて博物館・三十三間堂下車、徒歩すぐ
プリンセスラインバス京都駅八条口のりばから
京都女子大学前行にて東山七条下車、徒歩1分

◎京阪電車

七条駅下車、
東へ徒歩7分

◎近鉄電車

丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から
出町柳方面行にて七条駅下車、徒歩7分

◎阪急電車

京都河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行にて
七条駅下車、東へ徒歩7分

※ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

駐車場は有料となっております。



京都国立博物館

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

TEL 075-525-2473(テレホンサービス)※対応は日本語のみ

<https://www.kyohaku.go.jp>

(2020年6月) ja



明治の初め、西洋化・近代化を進めようという風潮の中で、日本の伝統的な文化が軽んじられ、古いもの、神社仏閣の宝物などが破壊や散逸の危険にさらされました。

明治22年(1889)、そうした文化財を保護するため、東京・京都・奈良に国立の博物館を設立することが定められ、当館は明治30年(1897)に「帝国京都博物館」として開館しました。

平成知新館

(設計:谷口吉生、平成25年竣工)撮影:北嶋俊治

館藏品・寄託品をあわせ約14,600件(令和元年度末現在)を超える収蔵品のなかから、陶磁・考古・絵画・彫刻・書跡・染織・金工・漆工など様々な分野にわたる文化財を平成知新館(名品ギャラリー)にて展示しているほか、年2回程度、特別展を開催しています。重要文化財に指定されている明治古都館(旧帝国京都博物館本館)は、免震改修他の基本計画を進めるため、現在展示を行っていません。なお、特別展の前後は、準備・撤収等のため名品ギャラリーは休止し、庭園のみの開館となります。



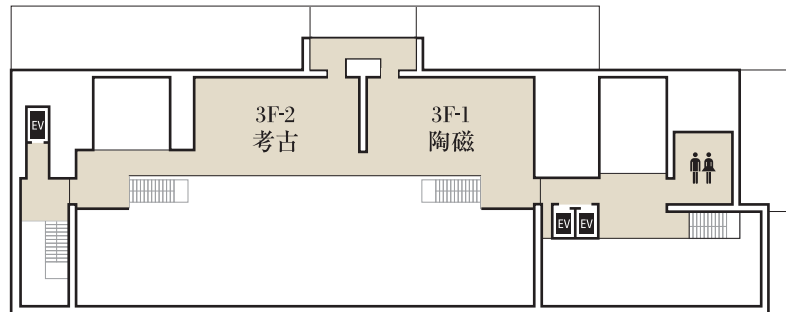


考古

3F-2

日本各地から出土し
縄文・弥生・古墳時代の遺物、
また寺院跡・経塚などから出土した
奈良から平安時代の考古遺物を展示。

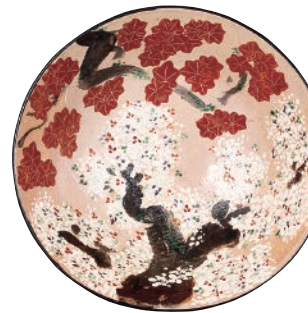
3F



陶磁

3F-1

日本の奈良から江戸時代にわたる
陶磁器を展示。
また、中国の漢から唐時代の俑、
宋・元時代の青磁や天目、
元・明時代の青花や五彩磁、
朝鮮半島の陶磁器を展示。



絵画

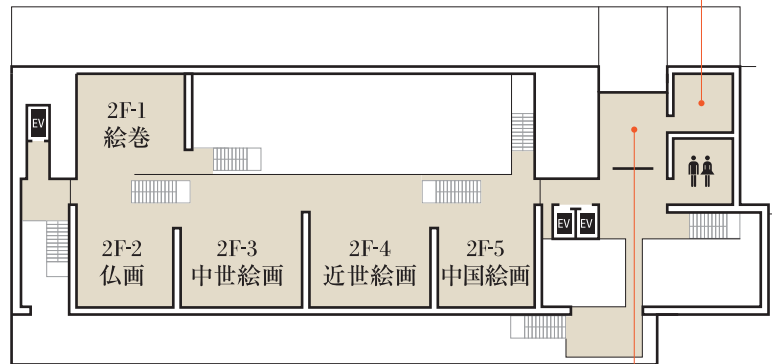
2F-1~5

絵巻、肖像画、仏画、水墨画、
さらに桃山から江戸時代にかけての
屏風や襖絵などを展示。
また、日本にもたらされた
中国の絵画も展示。



2F-1 絵巻

2F



2F-2 仏画



ミュージアムラボラトリー

レファレンスコーナー

情報検索コーナー、参考図書、
文化財マップ、デジタル絵巻を設置、
文化財に関する様々な情報に
触れることができます。



2F-3 中世絵画



2F-4 近世絵画

2F-5 中国絵画

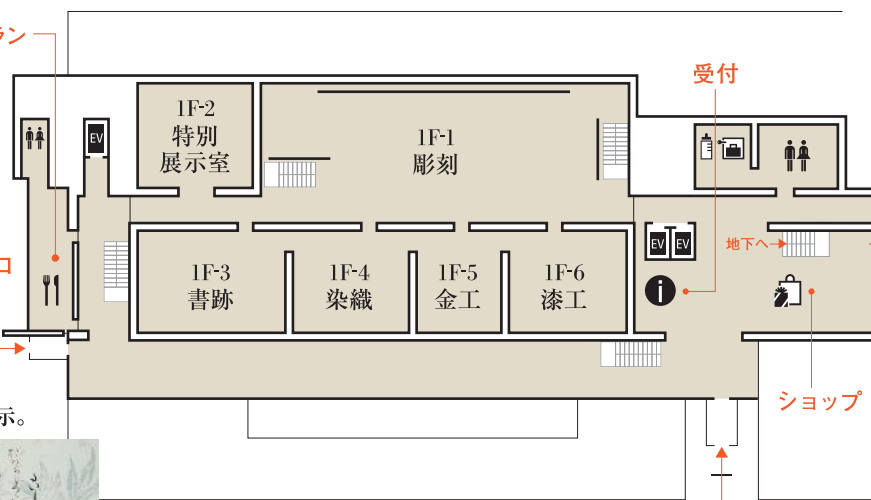


特別展示室

1F-2

レストラン

1F



西側入口

受付

正面入口

ショップ

BF1

講堂(シアター)

当館の名品を4Kやハイビジョン映像で紹介。
また、当館研究員などが展示品、
文化財について解説をする講演会を開催。

彫刻

1F-1

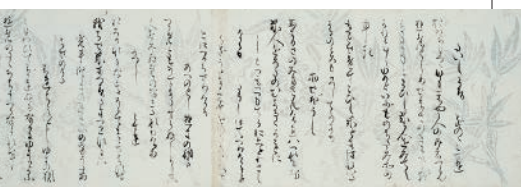
平安・鎌倉時代の
日本の仏像や神像を中心に
インド・ガンダーラ・中国・
朝鮮半島の石仏や
金銅仏なども展示。



書跡

1F-3

視覚芸術としての
日本・中国の書を中心に、
経典などの典籍や
古文書などの古記録類も展示。



染織

1F-4

日本の古代から近世に及ぶ
染織品を中心に、染織技術の発達、
意匠の意味などを紹介。



金工

1F-5

仏教寺院の儀式・荘厳・供養などに
用いられた仏具や、寺社奉納品としての
銅鏡、銅板鍍金や七宝による
飾金具、茶湯釜、さらに刀剣や
甲冑といった武器類などを展示。



漆工

1F-6

日本の代表的な工芸品である
蒔絵を中心に、中国、朝鮮半島、
琉球などの漆製品も随時展示。



左上から順に 埴輪 男子農夫像 / 装飾付須恵器 / 重文 色絵釘隠 伝野々村
仁清作 / 加彩婦女俑 / 色絵錆絵桜楓文鉢 仁阿弥道八作 / 国宝 餓鬼草紙 /
国宝 山越阿弥陀図 / 重文 四季花鳥図屏風 雪舟筆 / 重文 鶴下絵三十六歌
仙和歌巻 / 重美 九段錦図冊 沈周筆 / 国宝 古今和歌集卷第十二残巻 本阿
弥切 / 重文 桐矢模文様胴服 / 横鹿時絵螺鈿料紙箱 永田友治作 / 紫系威鏡
/ 阿弥陀如来坐像 / 如来立像(すべて京都国立博物館蔵)

※掲載作品は、常時展示を行っておりません。名品ギャラリーでは作品保護のため、随時展示替を行っています。

また、展示室の配置や展示内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

※特別展開催期間中は、名品ギャラリーは休止となります。

受付
Information

レストラン
Restaurant

トイレ
Restroom

コインロッカー
Coin Locker

ショップ
Museum Shop

エレベーター
Elevator

授乳室
Nursing Room